

専門教育科目 講義科目

科目名： 心理学のための統計		科目コード	EK36
科目主査： 永山 祐輔		単位	2
担当講師： 永山 祐輔		配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
人間の「こころ」を探求する学問である心理学は、「こころ」に関する仮説を検証するため、質問紙法や実験法などを用いてデータを収集します。このデータを質的/量的に分析することによって、一定の研究成果を示してきました。当然のことながら、このような研究結果には、客観性や再現可能性が求められています。研究成果の客観性を向上させるための試みの1つとして、数量化されたデータの統計学的な検証があります。本科目では、人間の「こころ」に関する仮説生成～検証を行うための基本的視座として「統計学」の知見を学ぶことを目的とします。			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	本科目は心理学実験演習Ⅰ・Ⅱの受講を視野に入れた授業構成となっています。代表値や標準偏差などの指標をもとにデータを読み、考察する力を養うことを目指しています。また、テキスト第7章については割愛することがありますので、ご了承ください。		
テキスト	『心理学のための統計学入門』川端 一光, 荘島 宏二郎, 誠信書房, 最新版		
この科目の到達目標	①心理統計に関する基本的な用語、考え方を理解できる。 ②与えられたデータを統計的な知見に基づいて分析し、解釈を提示することができる。		
成績評価の方法	授業中の姿勢、グループワーク、最終課題等の指標を用いて総合的な評価を行います。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。		
事後学習	①日常生活中で提示されるデータについて。統計学的な視点を用いて検証することを継続しましょう。 ②心理学実験演習Ⅰ・Ⅱの単位修得を目指す方は、平均値や標準偏差の解釈方法、 <i>t</i> 検定の仕組みなどを振り返りましょう。		
事後学習の参考文献	『よくわかる心理統計』山田 剛史・村井 潤一郎 著, ミネルヴァ書房, 2004年 『心理統計学の基礎－総合的理解のために』南風原 朝和 著, 有斐閣, 2002年		
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証			